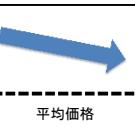
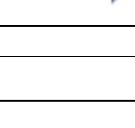
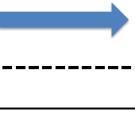
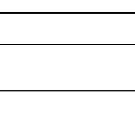
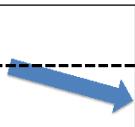
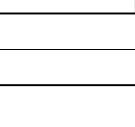


野菜の需給・価格動向レポート(平成27年11月9日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

・レポートの読み方については、注意書きを参照してください。

種類	10月の価格情報			11月 (参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	入荷量及び主要産地	生育及び価格の11月中旬までの見通し				
	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価額					現時点の価格水準				
	上旬	中旬	下旬			平均価格	今後の価格水準			
葉茎菜類	キャベツ	74.19 (181%)	134 (164%)	122 (131%)	97	72.93	・入荷量: 12,960t ・主産地: 千葉(44)、愛知(24)、茨城(14)			
	たまねぎ	88.91 (153%)	136 (144%)	128 (119%)	106	76.91	・入荷量: 3,667t ・主産地: 愛知(56)、茨城(19)、兵庫(7)			
	ねぎ (関東は白ねぎ、近畿は青ねぎ)	76.15 (96%)	73 (89%)	68 (85%)	65	76.15	・入荷量: 10,295t ・主産地: 北海道(95)			
	はくさい	240.04 (125%)	299 (114%)	274 (85%)	205	240.04	・入荷量: 6,189t ・主産地: 青森(16)、新潟(14)、秋田(13)、茨城(11)、埼玉(8)、群馬(7)、山形(6)、千葉(6)			
	ほうれんそう	467.01 (144%)	673 (143%)	666 (123%)	574	467.01	・入荷量: 1,163t ・主産地: 香川(19)、奈良(19)、徳島(19)、三重(12)、高知(10)、大阪(9)			
	レタス (結球)	56.81 (143%)	81 (176%)	100 (111%)	63	40.32	・入荷量: 12,999t ・主産地: 茨城(83)			
	きゅうり	385.11 (156%)	602 (131%)	506 (97%)	373	385.11	・入荷量: 1,611t ・主産地: 群馬(42)、茨城(16)、千葉(13)、埼玉(9)			
	トマト (大玉)	461.74 (145%)	668 (131%)	605 (96%)	445	461.74	・入荷量: 616t ・主産地: 岐阜(35)、福岡(27)、徳島(25)			
果菜類	なす	158.27 (176%)	279 (131%)	208 (104%)	164	143.63	・入荷量: 6,968t ・主産地: 茨城(67)、兵庫(8)、静岡(6)、香川(3)			
	ビーマン	152.57 (201%)	306 (141%)	215 (102%)	156	154.61	・入荷量: 1,542t ・主産地: 兵庫(42)、茨城(19)、徳島(15)、香川(13)			
	だいこん	262.75 (97%)	256 (99%)	260 (90%)	236	262.75	・入荷量: 4,682t ・主産地: 埼玉(26)、群馬(18)、宮崎(18)、千葉(10)、高知(10)			
	にんじん	315.83 (136%)	431 (136%)	430 (112%)	354	315.83	・入荷量: 4,948t ・主産地: 熊本(32)、千葉(17)、愛知(14)、茨城(12)			
	根菜類	337.88 (123%)	415 (131%)	442 (115%)	389	337.88	・入荷量: 975t ・主産地: 熊本(61)、愛知(7)			

種類	(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	10月の価格情報			11月 (参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	入荷量及び主要産地	生育及び価格の11月中旬までの見通し			「図の見方」 現時点の価格水準 今後の価格水準 平均価格			
		指定野菜の関東・近畿ブロック 旬別平均販売価額					入荷量及び主要産地						
		上旬	中旬	下旬			上旬	中旬	下旬				
いも類	さといも	220.97	298 (135%)	284 (129%)	248 (112%)	220.97	・入荷量: 1,263t ・主産地: 埼玉(60)、千葉(16)		<p>・埼玉産は、天候に恵まれ病害もなく生育は順調であるが、他品目の収穫と重なり現在平年よりやや少なめの出荷となっているが、他品目の収穫も終了したことから、今後は平年並みの出荷の見込み。千葉産は、天候に恵まれ生育は順調であることから、現在平年よりやや多めの出荷となっているが、今後は平年並みの出荷の見込み。</p> <p>・埼玉産及び千葉産の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、平年並みとなる見込み。</p>				
		217.56	286 (131%)	277 (127%)	274 (126%)	217.56	・入荷量: 337t ・主産地: 愛媛(42)、宮崎(25)、福井(18)、熊本(5)、鹿児島(3)						
	ばれいしょ	96.99	103 (106%)	101 (104%)	97 (100%)	96.99	・入荷量: 7,677t ・主産地: 北海道(98)		<p>・北海道産は、天候に恵まれ生育が順調だったことから豊作傾向となっており、引き続き平年よりやや多めの出荷の見込み。</p> <p>・北海道産の出荷が平年よりやや多めと見込まれることから、現在平年並みの価格は、10月下旬半ばから値を下げていることもあり、平年を下回って推移する見込み。</p>				
		96.99	95 (98%)	94 (97%)	91 (94%)	96.99	・入荷量: 3,292t ・主産地: 北海道(92)、長崎(8)						

注: 1 平均価格は、過去6年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く)で、保証基準額の算定の基となる価格。

2 旬別平均販売価額の赤字は平均価格を150%以上回るもの、背景あるいは保証基準額(平均価格の90%)を下回るもの(消費税は除く)。

3 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック。

4 入荷量は、東京都及び大阪市中央卸売市場の過去5年平均の数値である。

5 主産地は、関東農政局及び近畿農政局「野菜の入荷量と価格の見通し」による。東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアであり、関東は本年見込(さといもは前年実績)、近畿は前年実績。

6 コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したもの。

7 平成25年8月20日版より、平均価格と旬別平均販売価額を一部の品目につき細分化し、ねぎについては関東は白ねぎ、近畿は青ねぎ、レタスについてはレタス(結球)、トマトについてはトマト(大玉)の数値を用いている。

種類	(参考)過去5年平均価格	10月の価格情報			(参考)過去5年平均価格	入荷量及び主要産地	生育及び価格の11月中旬までの見通し			「図の見方」 現時点の価格水準 今後の価格水準 平均価格			
		東京・大阪市場の旬別価格					入荷量及び主要産地						
		上旬	中旬	下旬			上旬	中旬	下旬				
洋菜類	ブロッコリー	358.00	542 (151%)	510 (142%)	445 (124%)	282.00	・入荷量: 2,547t ・主産地: 埼玉(47)、群馬(12)、愛知(10)、栃木(6)、香川(4)、千葉(3)		<p>・埼玉産は、天候不順やその後の干ばつ傾向の影響で生育に遅れが見られたが、現在平年並みの出荷となっており、今後は平年よりやや多めの出荷の見込み。群馬産は、天候不順による定植の遅れとその後の干ばつにより、生育遅れで現在平年よりやや少なめの出荷となっているが、今後は天候の回復により平年並みの出荷の見込み。愛知産は、天候不順の影響で定植や低温による生育の遅れが生じ、最近の天候に恵まれたこともあり、生育の回復が見られるものの、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。</p> <p>・愛知産の出荷が平年よりやや少なめと見込まれるもの、埼玉産及び群馬産の出荷が平年よりやや多めもしくは平年並みと見込まれることから、価格は平年に近づくものの、現在平年を大幅に上回っているため、引き続き平年を上回って推移する見込み。</p>				
		387.00	548 (142%)	542 (140%)	476 (123%)	367.00	・入荷量: 634t ・主産地: 鳥取(35)、徳島(18)、長崎(7)、長野(6)、北海道(5)、輸入(5)						
根菜類	ごぼう	226.00	250 (111%)	254 (112%)	247 (109%)	210.00	・入荷量: 1,285t ・主産地: 青森(81)、茨城(10)、北海道(3)		<p>・青森産は、天候に恵まれ病害の発生もなく、生育は順調で品質も良好なことから、引き続き平年並みの出荷の見込み。</p> <p>・青森産の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平年並みの価格は、引き続き平年並みとなる見込み。</p>				
		154.00	201 (131%)	189 (123%)	188 (122%)	157.00	・入荷量: 783t ・主産地: 北海道(38)、青森(34)、茨城(21)、輸入(3)						

注: 1 平均価格は、過去5年間(平成22年から26年)の東京及び大阪市中央卸売市場の価格。

2 旬別価格の赤字は平均価格を150%以上回るもの、背景あるいは保証基準額(平均価格の80%)を下回るもの(消費税は除く)。

3 単位は円/kg、上段は東京中央卸売市場、下段は大阪市中央卸売市場である。

4 入荷量は、東京都及び大阪市中央卸売市場の過去5年平均の数値である。

5 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアである。

6 コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したもの。

種類	(参考)過去5年平均価格	10月の価格情報			(参考)過去5年平均価格	入荷量及び主要産地	生育及び価格の11月中旬までの見通し			「図の見方」 現時点の価格水準 今後の価格水準 平均価格			
		東京・大阪市場の旬別価格					入荷量及び主要産地						
		上旬	中旬	下旬			上旬	中旬	下旬				
洋菜類	ブロッコリー	358.00	542 (151%)	510 (142%)	445 (124%)	282.00	・入荷量: 2,547t ・主産地: 埼玉(47)、群馬(12)、愛知(10)、栃木(6)、香川(4)、千葉(3)		<p>・埼玉産は、天候不順やその後の干ばつ傾向の影響で生育に遅れが見られたが、現在平年並みの出荷となっており、今後は平年よりやや多めの出荷の見込み。群馬産は、天候不順による定植の遅れとその後の干ばつにより、生育遅れで現在平年よりやや少なめの出荷となっているが、今後は天候の回復により平年並みの出荷の見込み。愛知産は、天候不順の影響で定植や低温による生育の遅れが生じ、最近の天候に恵まれたこともあり、生育の回復が見られるものの、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。</p> <p>・愛知産の出荷が平年よりやや少なめと見込まれるもの、埼玉産及び群馬産の出荷が平年よりやや多めもしくは平年並みと見込まれることから、価格は平年に近づくものの、現在平年を大幅に上回っているため、引き続き平年を上回って推移する見込み。</p>				
		387.00	548 (142%)	542 (140%)	476 (123%)	367.00	・入荷量: 634t ・主産地: 鳥取(35)、徳島(18)、長崎(7)、長野(6)、北海道(5)、輸入(5)						
根菜類	ごぼう	226.00	250 (111%)	254 (112%)	247 (109%)	210.00	・入荷量: 1,285t ・主産地: 青森(81)、茨城(10)、北海道(3)		<p>・青森産は、天候に恵まれ病害の発生もなく、生育は順調で品質も良好なことから、引き続き平年並みの出荷の見込み。</p> <p>・青森産の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平年並みの価格は、引き続き平年並みとなる見込み。</p>				
		154.00	201 (131%)	189 (123%)	188 (122%)	157.00	・入荷量: 783t ・主産地: 北海道(38)、青森(34)、茨城(21)、輸入(3)						

注: 1 平均価格は、過去5年間(平成22年から26年)の東京及び大阪市中央卸売市場の価格。

2 旬別価格の赤字は平均価格を150%以上回るもの、背景あるいは保証基準額(平均価格の80%)を下回るもの(消費税は除く)。

3 単位は円/kg、上段は東京中央卸売市場、下段は大阪市中央卸売市場である。

4 入荷量は、東京都及び大阪市中央卸売市場の過去5年平均の数値である。

5 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアである。

6 コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したもの。

種類	(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	10月の価格情報			(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	入荷量及び主要産地	生育及び価格の11月中旬までの見通し			「図の見方」 現時点の価格水準 今後の価格水準 平均価格
指定野菜の関東・近畿ブロック 旬別平均販売価額			入荷量及び主要産地							
上旬	中旬	下旬</th								